

会 議 録

令和 6 年 7 月 8 日

令和 6 年度第 1 回大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会

議 事 概 要

1. 開会・挨拶

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会を開催させていただきます。本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本会議の司会を務めさせていただきます交通防犯対策課の上谷と申します。今年度より市の機構改革に伴い、企画政策から新たに設置され、本課に事務局が変わっております。どうぞよろしく願いいたします。

さて、前回 3 月にお集まりいただき、ご審議、了承いただきました事業計画に沿って進めさせていただいてるところです。地域公共交通計画は、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにする地域公共交通のマスタープランとされております。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律では、地域の関係者を構成員として組織する法定協議会として、当協議会において協議を行い、地域公共交通計画を作成することとされております。本市といたしましても、地

域地域旅客運送サービスの持続可能な確保を目的に、今後2か年かけて大和郡山市地域公共交通計画を策定したいと考えており、今年度は、地域公共交通再編に向けた基礎調査、実証実験の企画、次年度では、実証実験及び地域公共交通計画の作成を予定しております。本日の協議会におきましては、現時点での進捗状況及び今後の予定についてご報告し、ご意見等いただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

では、まず、本日の会議の出席委員のご紹介をいたします。

(出席者を順に紹介する)

以上により、本日は、委員12名のうち、出席者が11名でございますので、本協議会設置要綱第6条第2項の規定により、本日の協議会が成立することをご報告申し上げます。

(事務局紹介・配布資料確認)

なお、本会議は公開で行い、議事要旨及び資料についても公開いたします。なお、本日の会議を傍聴される方が1名おられますことを、ご報告いたします。

それでは会議の開催にあたりまして、本会議の会長を務めさせていただきます、上田市長よりご挨拶を申し上げます。

【市長】

皆さん、おはようございます。早朝からお集まりいただきまして、改めて感謝を申し上げたいと思います。

今、公共交通あるいは運輸全般に係る最大の関心事あるいは課題といえば、やっぱり人手不足です。色々と交通事業者の方々のお話を聞きますと、本当に深刻だということで、これが今後の実証実験にも影響があるというところがございます。ですので、本当に知恵を出し、汗をかいていかないと、新しい取り組みが前に進んでいかないのかなと思っているところがございます。

そうした中、3月以来、年度が変わって第1回目の公共交通会議でございます。先ほどありましたように、コンサルティングの業者も決まり、これから本格的に事業を進めていくということがございます。

議事次第にあります通り、年度開始から今日までの進捗状況、それから今後の予定についてご報告を考えてるところでございます。ということで、報告事項が中心になりますけれども、お集まりをいただいております委員の皆様には、専門的な見知等からどうぞ忌憚のないご意見をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ど

うぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは、協議に入らせていただきたいと思います。大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会設置要綱第6条第1項におきまして、当協議会の会長が本会議の議長を務める旨を規定させていただいておりますので、上田市長、進行のほど、お願いいたします。

2. 議題

(1)公募型プロポーザルによるコンサルティング業者の決定・契約について(報告)

事務局より資料1に沿って以下のとおり説明

- ・地域公共交通計画策定に係る基礎調査及び実証実験に係る検討業務について中央復建コンサルタンツ株式会社に委託する。
- ・委託金額は前回協議会で審議、承認された予算の範囲内である。

(質疑応答)

※質疑なし

【市長】

ご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、議題1 公募型プロポーザルによるコンサルティング業者の決定・契約については了承いたします。

(2)地域公共交通計画策定にかかる年間予定及び現在の進捗状況について

事務局より資料2に沿って以下のとおり説明

- ・令和7年10月頃の実証実験の実施、令和7年度末に地域公共交通計画を策定することを目標にする。
- ・令和6年度は交通体系を検討するにあたって、地域との合意形成などを図っていく。
- ・公共交通に関するニーズを把握するため、市民アンケートとコミュニティバス利用者へのアンケートを実施し、課題を整理する。
- ・コミュニティバスの運行事業者の運転不足の状況や、市内のタクシー事業者のデマンド交通への参画意向を確認している。

(質疑応答)

【一般社団法人奈良県タクシー協会】

コミュニティバスもしくは、デマンド乗り合いタクシーで取り組むのか、これから色々調査、検討されると思いますが、一番心配していますのは、コロナで非常に影響を受けて、交通業界全体として収益が

下がっていました。それが、大和郡山市においては、ようやくコロナ前になんとか戻りつつあるという状況です。

その中で、タクシー事業が疲弊しないように、タクシー事業をこれからもこの地域の公共交通として守っていけるような状況を維持していただくように、やり方は色々あると思いますけれども、交通事業者と十分な協議をしながら進めていただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。これはお願い事でございます。

【市長】

他にございませんでしょうか。中身はまだこれからであります、アンケート調査の結果を見ながら進めていきたいと思っております。

3. 報告

(1)実証実験における新たな運行手段について

近畿運輸局奈良運輸支局、中央大学研究開発機構 竹内機構准教授
よりデマンド交通についてご説明

(質疑応答)

【一般社団法人奈良県タクシー協会】

運賃について、自治体がお金を出すから運賃が安くなっていますが、
れども、交通空白地を埋めているのに運賃を安くする必要はあるので
しょうか。運賃が高くても利用者がいれば成立するので、いかに自治

体が出す補助金を抑えるか、採算が取れるように運賃を設定すれば良いと思うのですが、運賃は安くないと乗ってもらえないのでしょうか。

【竹内准教授】

ご質問ありがとうございます。これは非常に悩ましい問題です。国土交通政策研究所が全国調査したところ、コミュニティバスは運賃100円から200円が多く、デマンド交通は300円くらいが多くなっています。500円は高いと思われています。自治体が運賃を設定する際に、独自の調査結果により300円に決めたのであればいいのですが、他の自治体の事例を調べて、他の自治体が300円だから300円に設定してしまうというのは非常に危ないと思います。

ある程度その市場のニーズを見ながら適切な運賃設定をすることが重要だと思います。どれくらいにするかは利用者の要望や行政の財源にもよるもので、単純に安くすればよいというものではないのは、おっしゃるとおりだと思います。

【一般社団法人奈良県タクシー協会】

自治体の持ち出しが大きくなってきたら将来的に続けていけないという不安もあります。利用者には、移動にはお金がかかるという認識を持ってもらうことが重要だと思います。昔から運賃100円というのは上がっていないですが、物価は上がっています。利用者にもどれくらい自治体が負担しているのかというのは理解してもらうために、

周知していく必要があると思います。

【市長】

本市の悩みを端的におっしゃっていただきました。コミュニティバスも運賃100円でやってきていますが、考えるときに来たのかもしれませんが。

4. 閉会

【市長】

以上で本日の協議事項はこれで終了いたしましたけれども、全体を通して何かご意見等ありますでしょうか。

(特になし)

ありがとうございました。行政も市民も、意識を変えていく努力が必要になってきているのかなと思います。これからも引き続きよろしくをお願いいたします。本日はお時間ありがとうございました。

【事務局】

皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席賜りありがとうございました。今年度は3回ほど開催したいと考えておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、大和郡山市地域公共交通総合連絡協
議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。